

パソコンノートテイク導入支援ガイド

やってみよう！ パソコンノートテイク



初心者用
これだけは！

PEPNet-
Japan

もくじ

パソコンノートテイクとは？ 2

パソコンノートテイクの概要

機材の準備・接続方法 3

ノートパソコンの準備
その他の周辺機器
パソコン同士の接続方法

ネットワークの接続設定 6

IP アドレスの設定
IPtalk の接続設定

パソコンノートテイク体験 14

IPtalk によるパソコンノートテイク
実際にやってみよう！
聴覚障害学生用パソコンの設定

便利な機能と入力のポイント 19

IPtalk のさまざまな機能
効果的な入力のために

よくあるトラブルと解決方法 30

トラブルシューティング
参考情報



パソコン同士がうまくつながらない！

パソコン同士の接続・パートナー
設定に困ったら…

P30

数年前から、大学の支援現場で「パソコンノートテイクを始めたいけれど、どうすればいいかわからない・・・」という声を聞くようになりました。手書きノートテイクによる支援が大学に定着してきたのを受け、より充実した支援をを考える大学が増えてきたことの表れではないかと思えます。日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）では、こうした状況にお応えして、2007年10月に「パソコンノートテイク導入支援ガイドーやってみよう！パソコンノートテイク」を発行しました。「身近に専門家がいなくても、みんながパソコンノートテイクを始められるように！」という願いを込めて作成したこの冊子は、発行以来多くの大学・機関より問い合わせをいただき、「おかげでパソコンノートテイクの導入ができた！」とのうれしい反響もいただいています。

その後、ガイドをお読みいただいた方々から、「この冊子を使って講座を開催するために受講生用テキストがあれば・・・」「最低限の機能だけを取り出した備忘録がほしい」などの声があがり、本書の発行に至りました。ここでは、好評だった前書から応用的な説明部分を省き、パソコンノートテイクを始めるにあたって必要なミニマムエッセンスのみを厳選して1冊にまとめています。詳しい接続・設定や、つまずきやすいポイントなど、細かな説明は前書にゆずり、支援現場で必要な知識のみをコンパクトにまとめておりますので、これからパソコンノートテイクを行おうと考えているすべての方に、広くご活用いただければ幸いです。

2009年9月 吉日
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）

パソコンノートテイクとは？

パソコンノートテイクの概要

パソコンノートテイクは、パソコンの文字入力を利用してその場の音情報を伝えるもので、聴覚障害者への情報保障の手段の一つです。大学・短期大学等（以下、大学）で普及している手書きのノートテイクと同様、聞こえてくる音情報をパソコンを用いて入力し、聴覚障害学生に提示します。

支援に特殊な機材は不要で、はじめのうちは一般的なノートパソコンとワープロソフトなどを用いて行うことも可能です。しかし、専用ソフトを用い、複数台のパソコンをLANでつないで支援することで、より柔軟で多様な支援の実施が可能になります。

本書では、聴覚障害学生への支援に有効なパソコンノートテイクの方法について、基礎から順を追って解説します。

実際の支援の様子



パソコンノートテイクの特徴

【長所】

- 手書きノートテイク等と比較して情報量が多い
- ある程度の訓練を経れば支援が可能
- 一定時間情報が提示されるため、目を離していても情報取得が容易
- 状況に応じて多様なシステム構成が可能

【短所】

- 機器の購入にコストがかかる
- 支援者養成に一定の時間がかかる
- 数式や記号・図形等の入力が困難
- 課外実習など動き回る授業形態では対応が困難

機材の準備・接続方法

ノートパソコンの準備

パソコンノートテイクには、複数台のパソコンを使用します。普段使用しているものを使いまわすこともできますが、設定等のトラブルをふせぐためにも、専用の機材を購入しておいた方が良いでしょう。

ノートパソコン



パソコンは軽くて持ち運びがしやすく、キーボードが手になじみやすいものを選びます。台数はシステムの組み方で異なりますが、一般的には入力者数（普通は2～3台）＋聴覚障害学生用（1台）があると良いでしょう。



【推奨スペック】

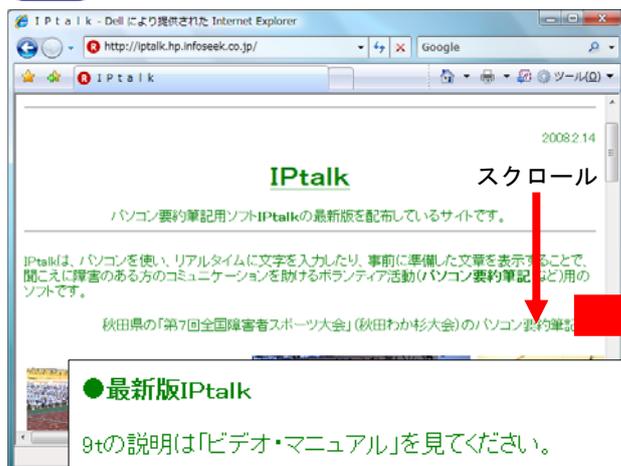
CPU : Pentium2 以降（その互換 CPU）

OS : Windows 2000, XP 以降

古いパソコンを再利用する場合には、スクロール表示をスムーズに処理するため、メモリの増設をお奨めします。

パソコンには、専用のフリーソフトである IPtalk（アイピートーク）をインストールして下さい。IPtalk の最新版は下記のページから無料でダウンロードすることができます。

URL <http://IPtalk.hp.infoseek.co.jp/>

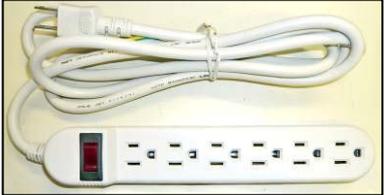


IPtalk は、聴覚障害者への情報保障を目的に開発されたフリーソフト（作者：栗田茂明氏 <http://iptalk.hp.infoseek.co.jp/>）です。現場の意見を取り入れながら、頻繁なバージョンアップがされています。

クリック

その他の周辺機器

他に、以下のような機材が必要です。

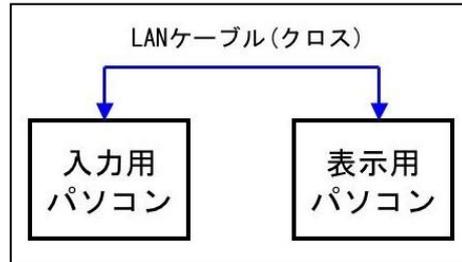
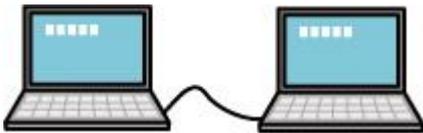
| | |
|---|---|
|  | <p>【電源コード】 パソコンに付属のものですが、教室に持って行くのを忘れやすいので注意してください。途中の接続部分が抜けてしまうこともあるので、接続前に確認しましょう。</p> |
|  | <p>【OA タップ】 パソコンの台数+HUB の口数があるものを選びます。3人で入力するときには5口以上のものが必要です。教室の配置によっては電源が確保しづらい場合もあるので、長めのものを用意すると良いでしょう。</p> |
|  | <p>【LAN ケーブル】 パソコンと HUB の接続に使用します。一般的には、通常パソコンをインターネットにつなぐときと同じ「ストレートケーブル」を使用します。2台のパソコンを直接繋ぐ場合には、「クロスケーブル」という特別なケーブルが必要です。外見はほとんど同じなので、クロスケーブルにはわかりやすい目印を付けておきましょう。</p> |
|  | <p>【スイッチング HUB】（以下、HUB） 一般的なものは電源コードが付いています。USBによりパソコンから電源供給できるものもあります。接続するパソコンの台数に合わせて、差し込み口の数を選択しましょう。</p> |
|  | <p>【プロジェクタ】 パソコンノートテイクの文字をスクリーン等に投影する場合に使用します。授業では使わない場合も多いですが、聴覚障害学生が複数いる場合や、行事の時には利用すると便利です。</p> |
|  | <p>【VGA ケーブル】（アナログ RGB/D-Sub15pin） プロジェクタとパソコンを接続する際に用います。一般的にはプロジェクタに同封されていますが、場所の制約で長いものが必要になることがあります。細いものの方が取り回しやすく使い勝手がいいでしょう。</p> |

パソコン同士の接続方法

次に、パソコン同士を接続しましょう。接続方法は、2台をつなぐときと3台以上を接続するときで方法が異なります。

2台のパソコンをつなぐ場合

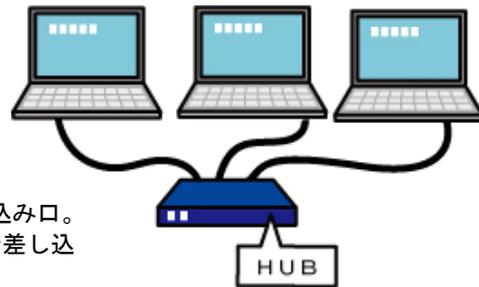
パソコン2台を、LANケーブル（クロス）で接続するだけなのでとても簡単です。ただしこの場合、2台以上のパソコンは接続できません。



3台以上のパソコンをつなぐ場合

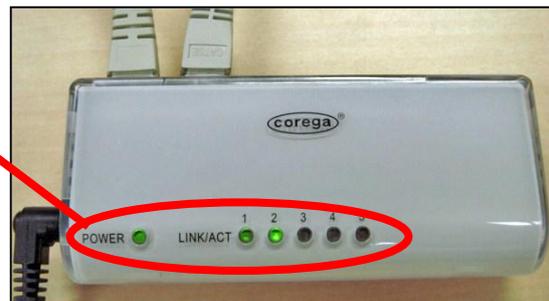
3台以上のパソコンを接続する場合には、HUB を用います。下図のように、LANケーブル（ストレート）を使ってすべてのパソコンをつなぎましょう。

入力台数が増えた場合にも、同じような形で接続可能です。

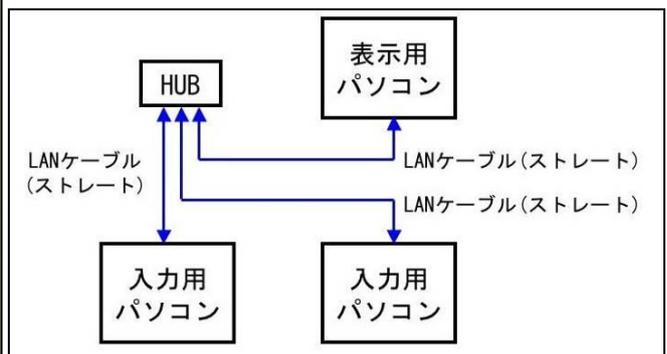


LANケーブルの差し込み口。カチッと音がするまで差し込んでください。

HUBは、電源を入れ、差し込み口に対応した番号のランプがついているかを確認します。



接続完了時の状態。すべてのパソコンがHUBにつながっている。



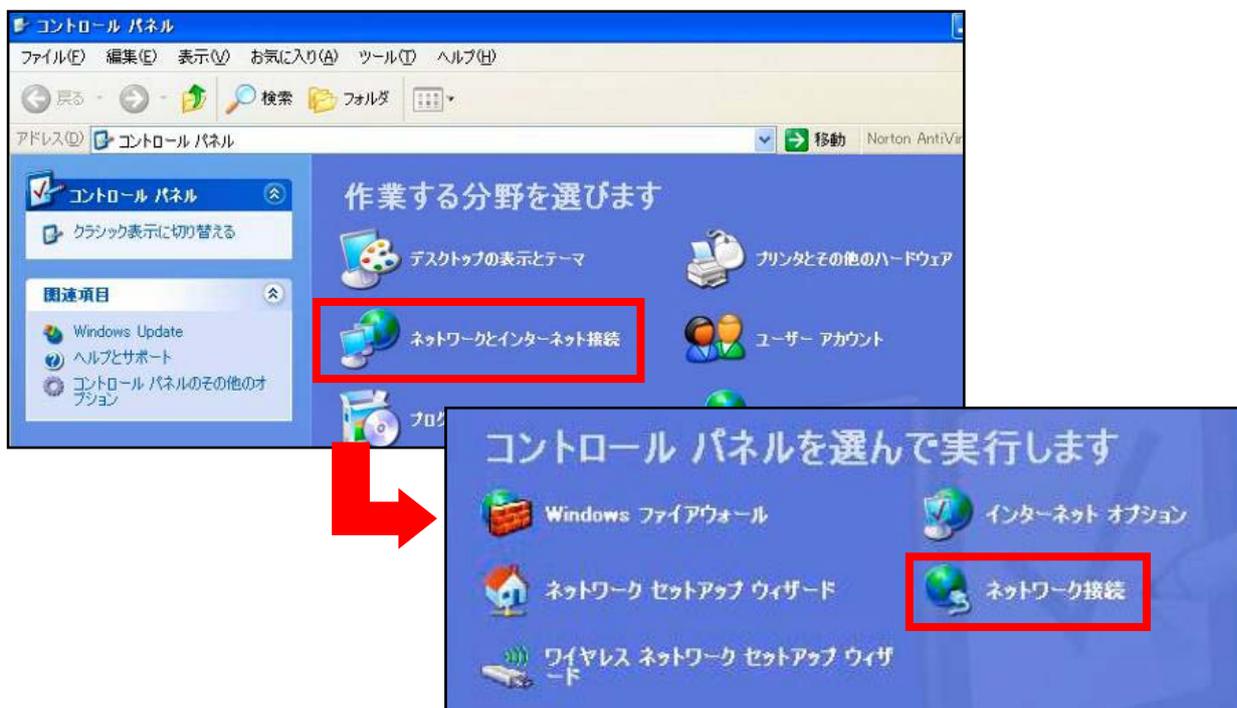
ネットワークの接続設定

IP アドレスの設定

パソコン同士を接続したら、次は LAN 接続のために IP アドレスを設定します。IP アドレスは、パソコンに割り振られる電話番号のようなもので、パソコン同士を識別するために使われます。Windows XP と Vista では設定方法が異なりますので注意してください。

IP アドレスの設定 (Windows XP 編)

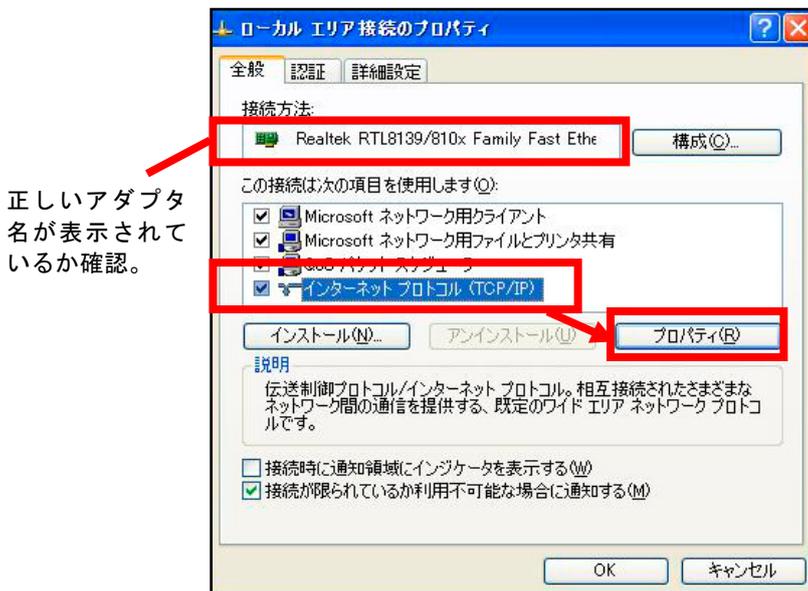
- ①「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット接続」をクリックし、「ネットワークの接続」をクリックします。



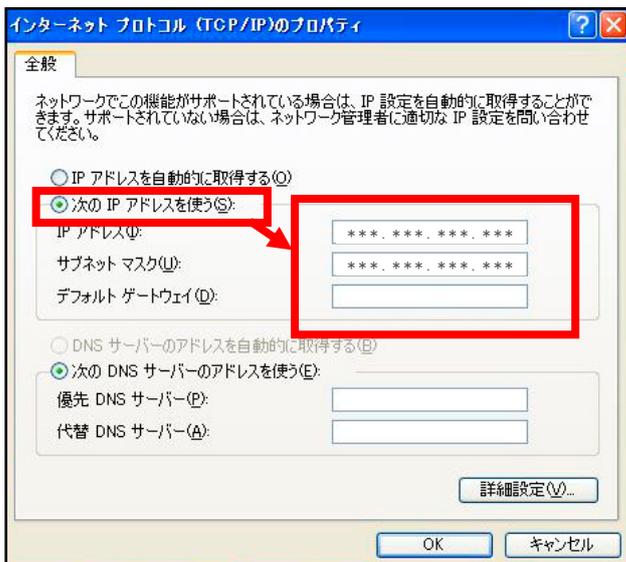
- ② [ローカルエリア接続] を右クリックしメニュー内の [プロパティ] をクリックします。



③ [接続方法] に LAN アダプタの名称が表示されていることを確認後、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] をクリックし、[プロパティ] をクリックします。



④ [インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ] 画面で [次の IP アドレスを使う] にチェックを入れ、IP アドレス・サブネットマスクを設定し、[OK] を押します。



IP アドレスの設定について、特に規定等がない場合は、下表の標準的な IP アドレスを割り振ることができます。

| クラス | IP アドレス | サブネットマスク |
|-----|---------------------------------|---------------|
| A | 10.0.0.0～ 10.255.255.255 | 255.0.0.0 |
| B | 172.16.0.0～ 172.31.255.255 | 255.255.0.0 |
| C | 192.168.0.0～ 192.168.255.255 | 255.255.255.0 |

一般的によく用いられるのは、クラス C と呼ばれる下記の設定です。

【標準的な設定】 すべてのパソコンでそろえる
 IP アドレス : 192.168.XXX.YYY 異なる数字を割り当てる
 サブネットマスク : 255.255.255.0

(XXX・YYY は 0～255 の任意の数字)

これらの設定を変更すると、インターネット等への接続ができなくなります。パソコンノートブック用のパソコンを他の用途にも使用する場合には、元の設定をメモし、復旧できるようにしておきましょう。

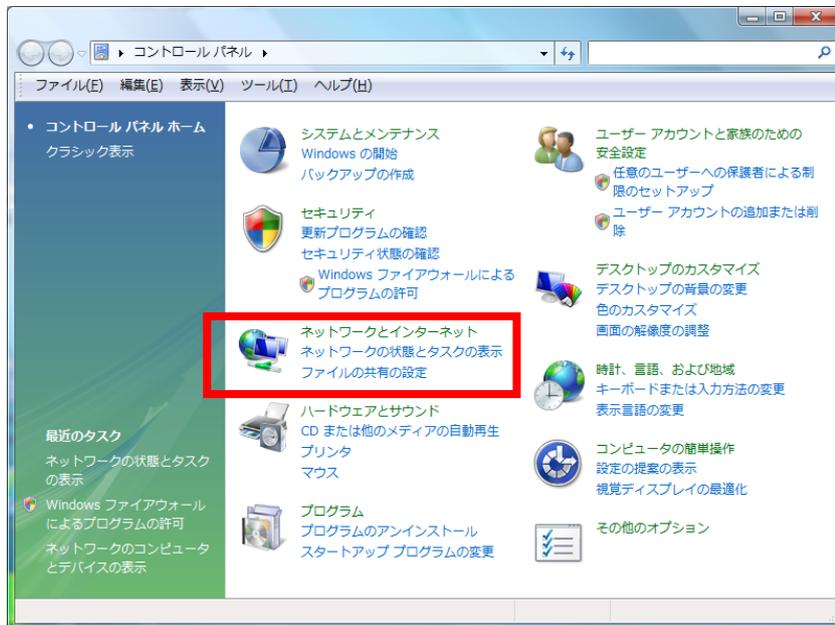
IP アドレスは、サブネットマスクが 255 になっている桁までをすべてのパソコンでそろえます。

上記の例の場合 XXX はすべてのパソコンで同じ値を入力し、YYY は他のパソコンと重ならないような数字を割り当てます。

例) PC1 192.168.1.1
 PC2 192.168.1.2
 PC3 192.168.1.3 など

IPアドレスの設定 (Vista 編)

- ① 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」の「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



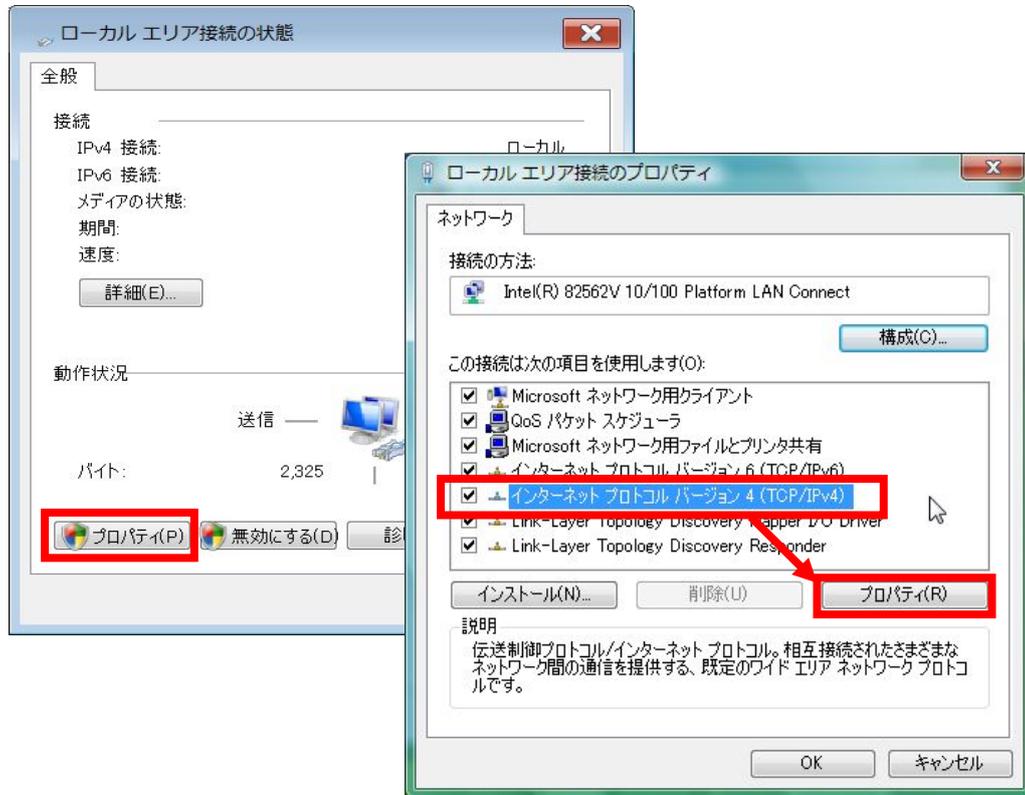
- ② 「ネットワークと共有センター」が開きます。「ローカルエリア接続」の「状態の表示」をクリックします。



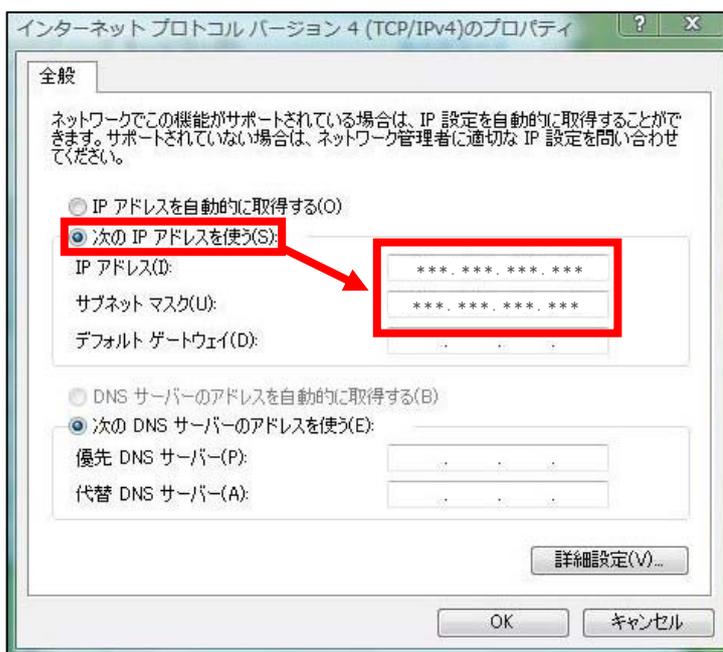
インターネットにはつないでいないので、×が表示されます。

「状態の表示」をクリック。

- ③ 「ローカルエリア接続の状態」の「プロパティ」をクリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」から、「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」を選択します。



- ④ 「次の IP アドレスを使う」にチェックし、「IP アドレス」・「サブネットマスク」を入力、OK をクリックします。ここで入力した IP アドレスは IPTalk の設定にとっても重要なので、番号を忘れないように覚えていてください。



☞ IP アドレスの説明は P7 を参照してください。

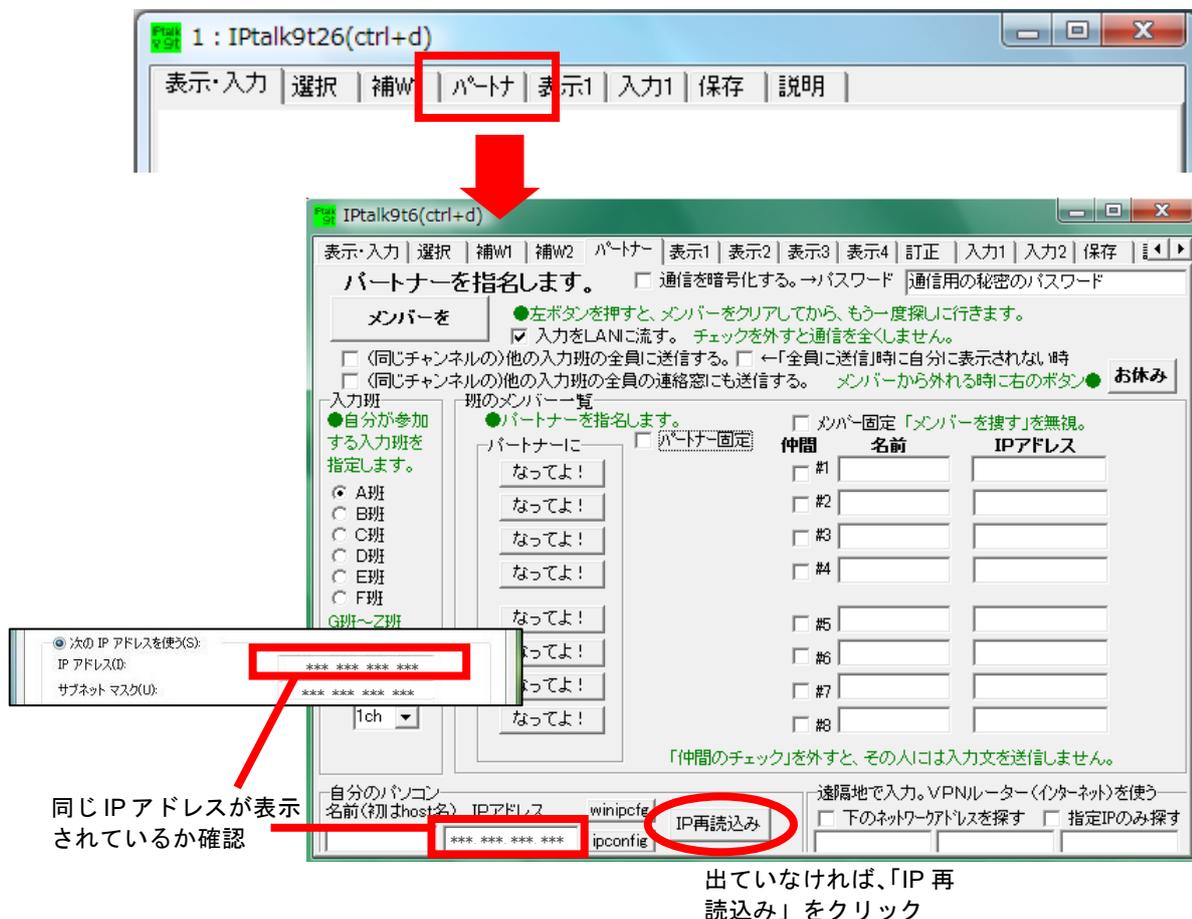
IPtalk の接続設定

IP アドレスの設定が終わったら、IPtalk 同士の通信設定をしましょう。

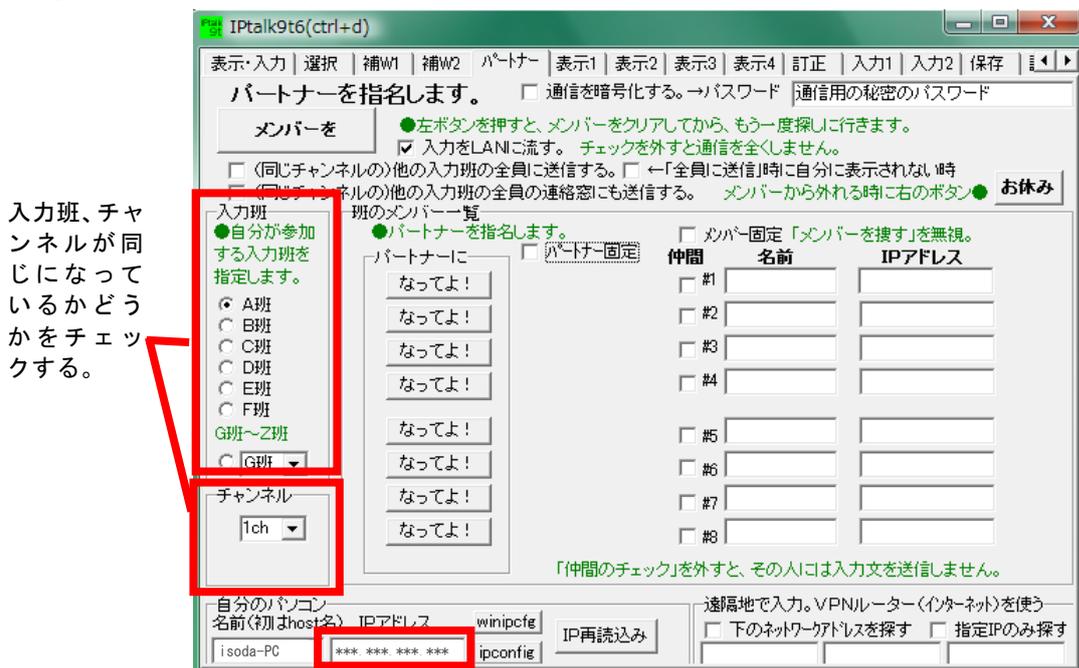
①アイコンをダブルクリックして IPtalk を起動します。



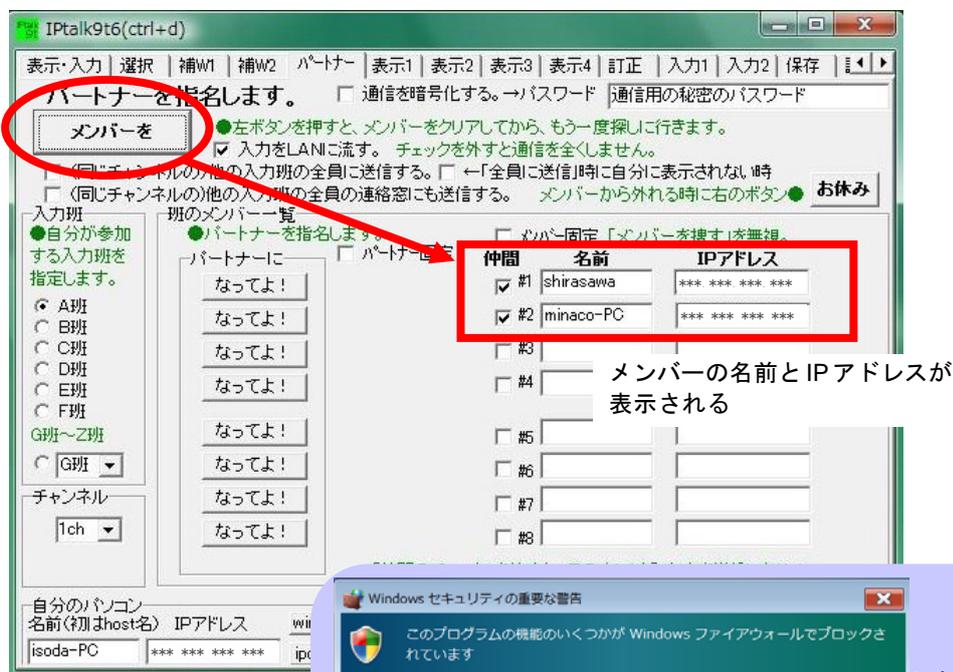
②「パートナー」Tab をクリックし、左下の枠に P6~9 で設定した IP アドレスが正しく表示されているか確認してください。出ていなければ「IP 再読み込み」ボタンを押しましょう。



③接続するパソコン同士で入力班とチャンネルをそろえます。班やチャンネルが異なると
 連携入力できません。

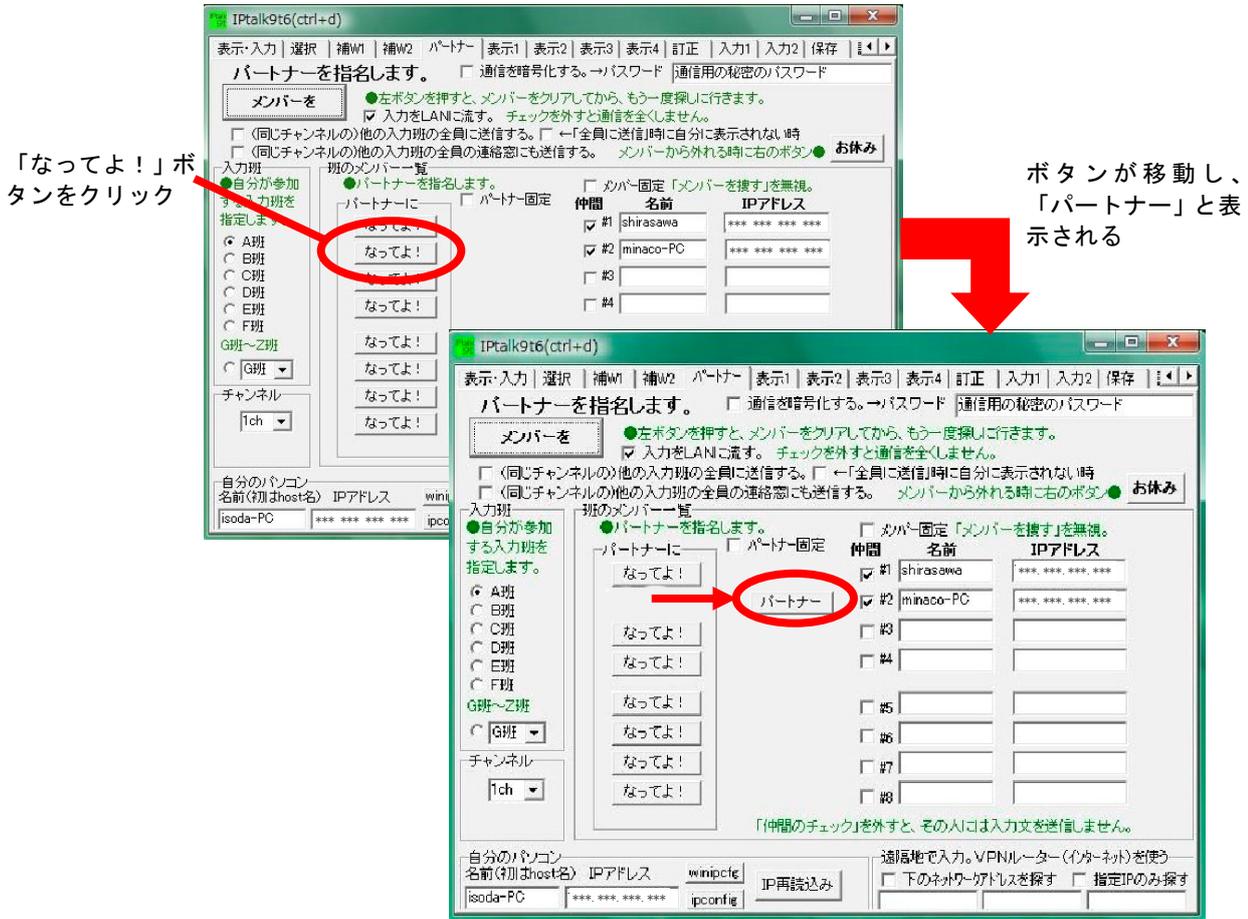


④「メンバーを探す」をクリックします。同じネットワークに入っている人がいると、メンバー一覧に名前とIPアドレスが表示されます。

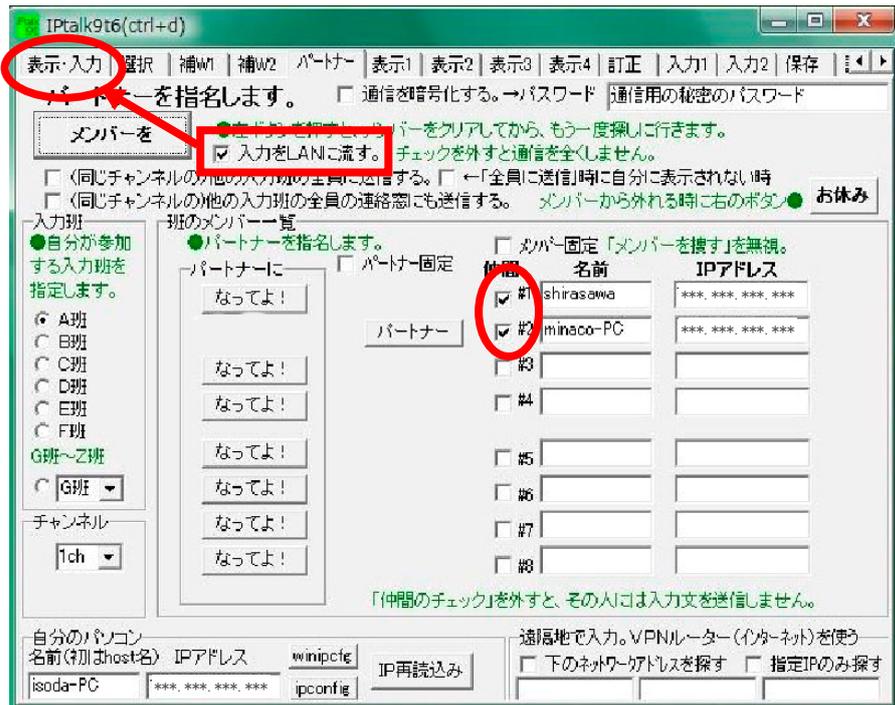


メンバーが表示されないときには、一度「お休み」を押して再度「メンバーを探す」を押してみてください。

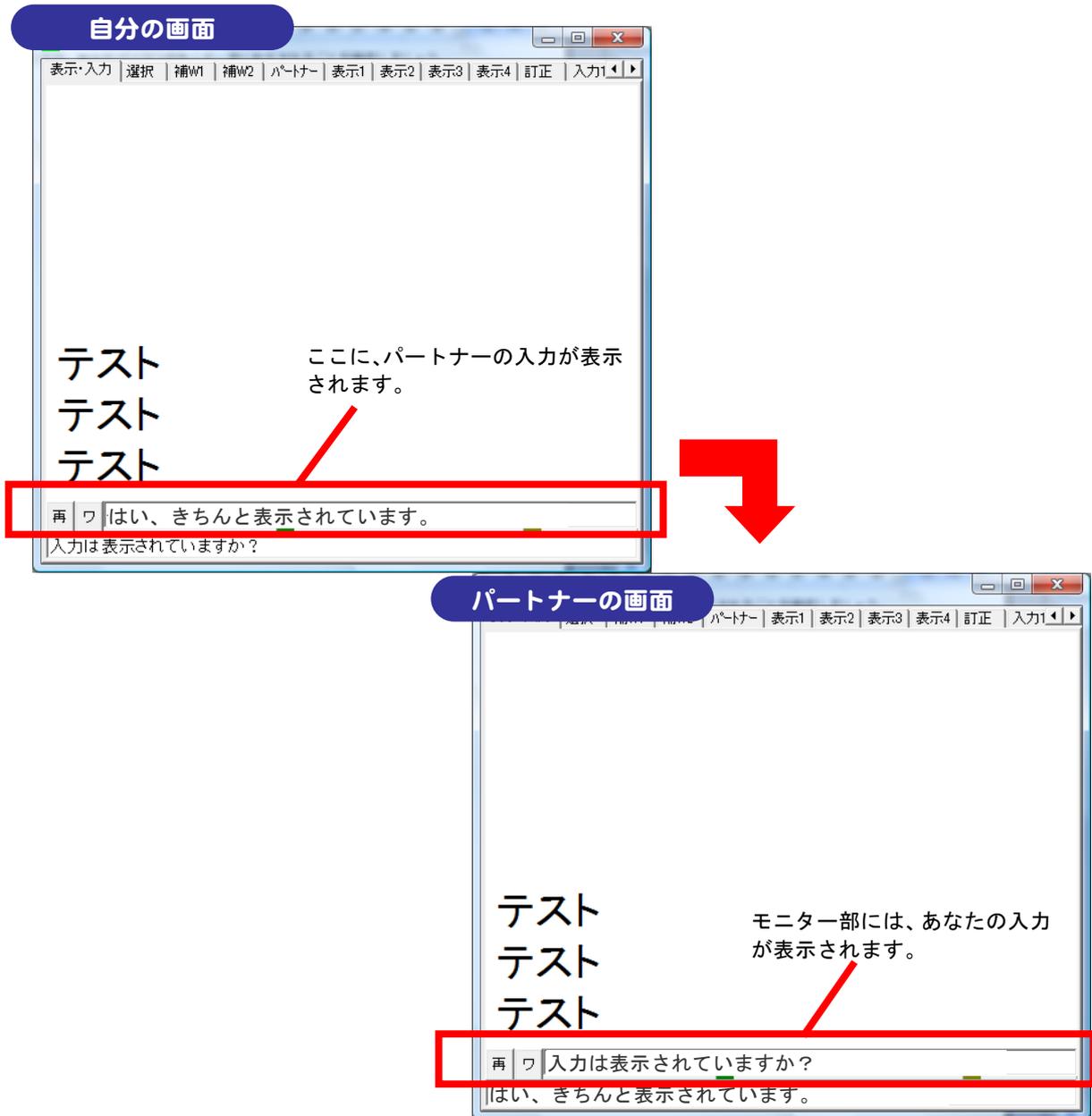
⑤ 関係入力をするパートナーを選んで、パートナーに「なってよ！」ボタンを押すと、名前の前に「パートナー」の表示が出ます。



⑥ 最後に「仲間」と「入力を LAN に流す」がチェックされていることを確認し表示・入力 Tab に戻る。



⑦パートナーの入力が、自分のパソコンのモニター部に表示されることを確認しましょう。



両方の画面で確認できれば、接続完了です。

以下に設定のチェックポイントを上げておきます。これでもうまくいかないときには、次ページ以降の解決方法を参考にしてください。

チェックポイント

- IP アドレスは正しく表示されていますか？
- 入力班・チャンネルはきちんとそろっていますか？
- 10人以上が同じ班に入ろうとしていませんか？
- パートナーに「なってよ！」ボタンは押されていますか？
- 「仲間」にチェックが入っていますか？
- 「入力を LAN に流す」にチェックは入っていますか？

パソコンノートテイク体験

IPtalk によるパソコンノートテイク

では IPtalk を使いながら、実際のパソコンノートテイクの様子を体験してみましょう。まず、IPtalk を起動しましょう。アイコンをダブルクリックすると、起動画面が出た後、以下のような画面が表示されるはずです。これが、IPtalk の基本画面です。

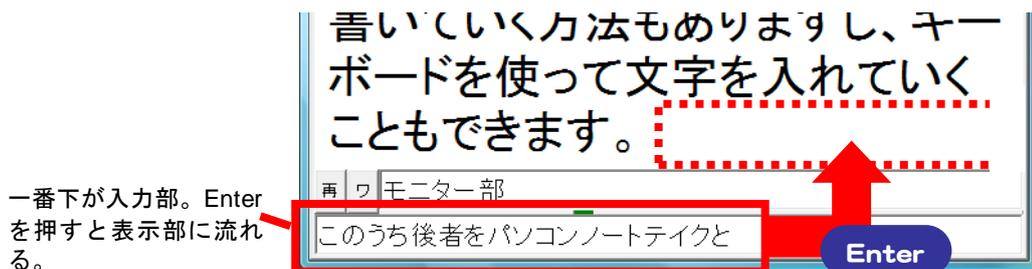


画面は大きく 3 つの部分に分割されています。

入力部・表示部

まず、一番下の入力部です。ここは、自分が文字を入力する枠です。

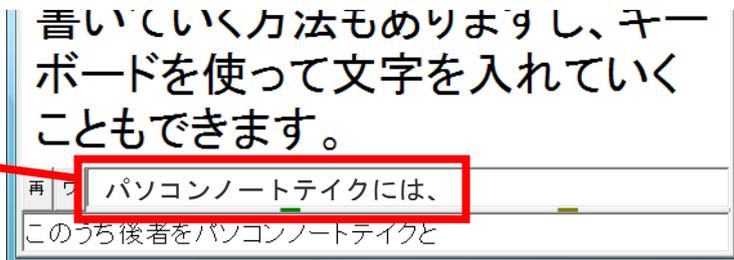
入力した文字は、Enter を押すと上の表示部に流れ、LAN でつながれた聴覚障害学生用のパソコンにも同じ内容が送られます。



モニター部

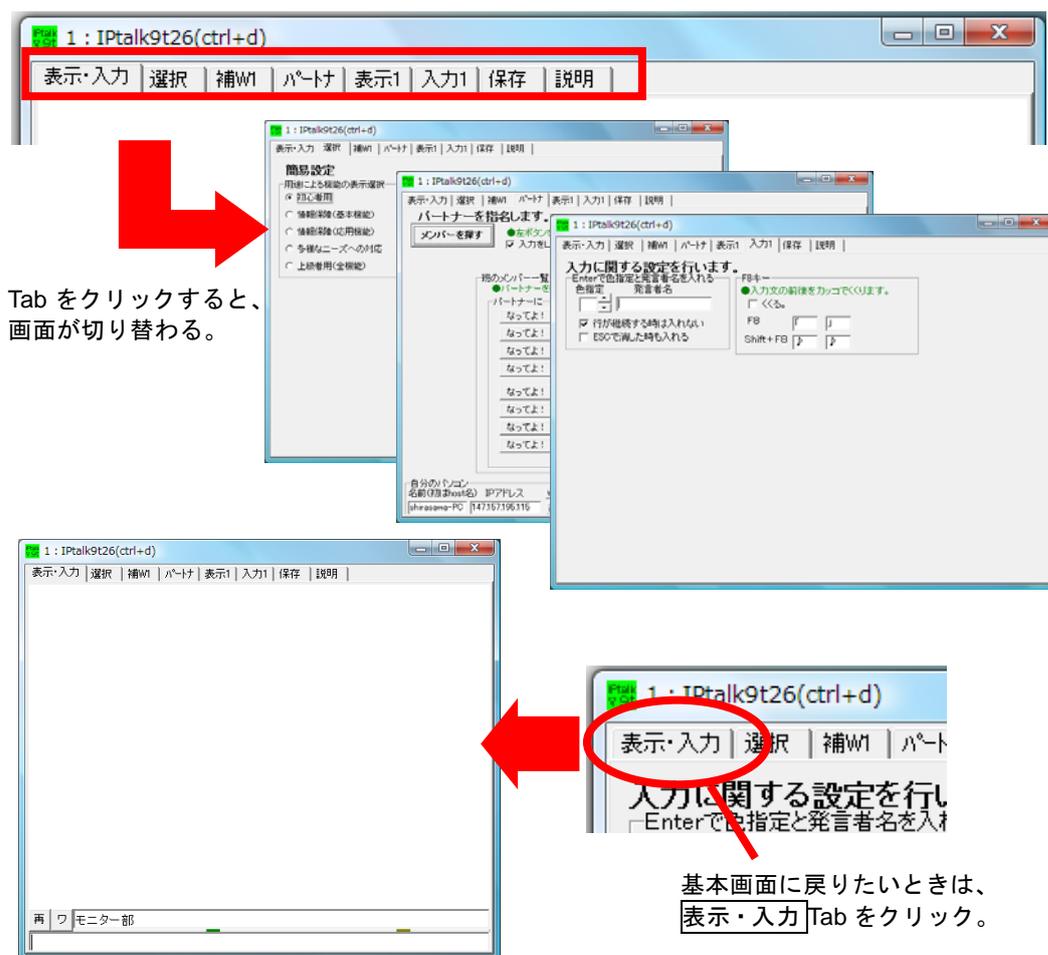
モニター部には、LAN でつながれたパソコンを利用しているパートナーの入力が表示されます。これを使うことで、二人以上の入力者が関係しながら入力することが可能になります。

パートナーが入力している文字はモニター部に表示される。



設定 Tab

表示部の上には小さな Tab (タブ) がいくつか並んでいます。画面の色や文字の大きさ、パートナーの設定など細かな設定は、この Tab で画面を切り替えて行います。



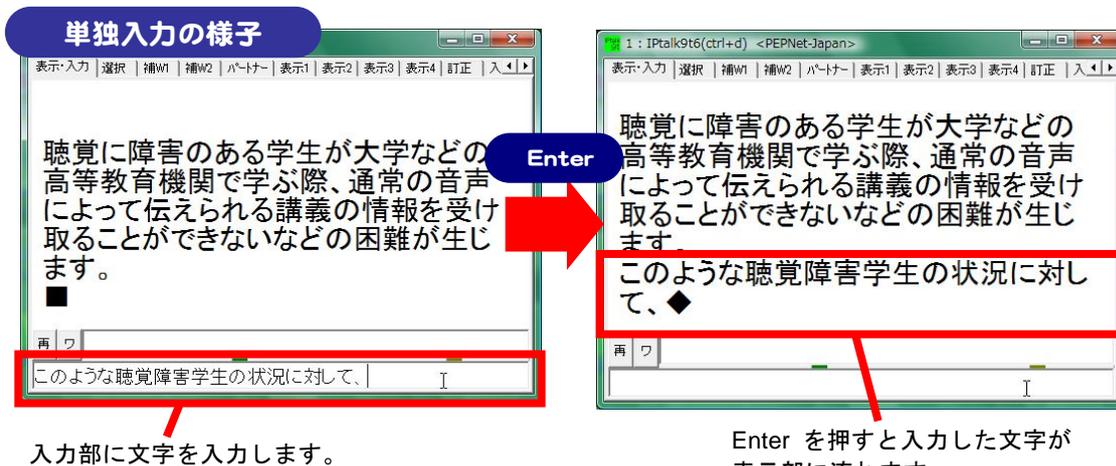
Tab をクリックすると、画面が切り替わる。

基本画面に戻りたいときは、**表示・入力** Tab をクリック。

各 Tab の詳細は P19 ~ 参照

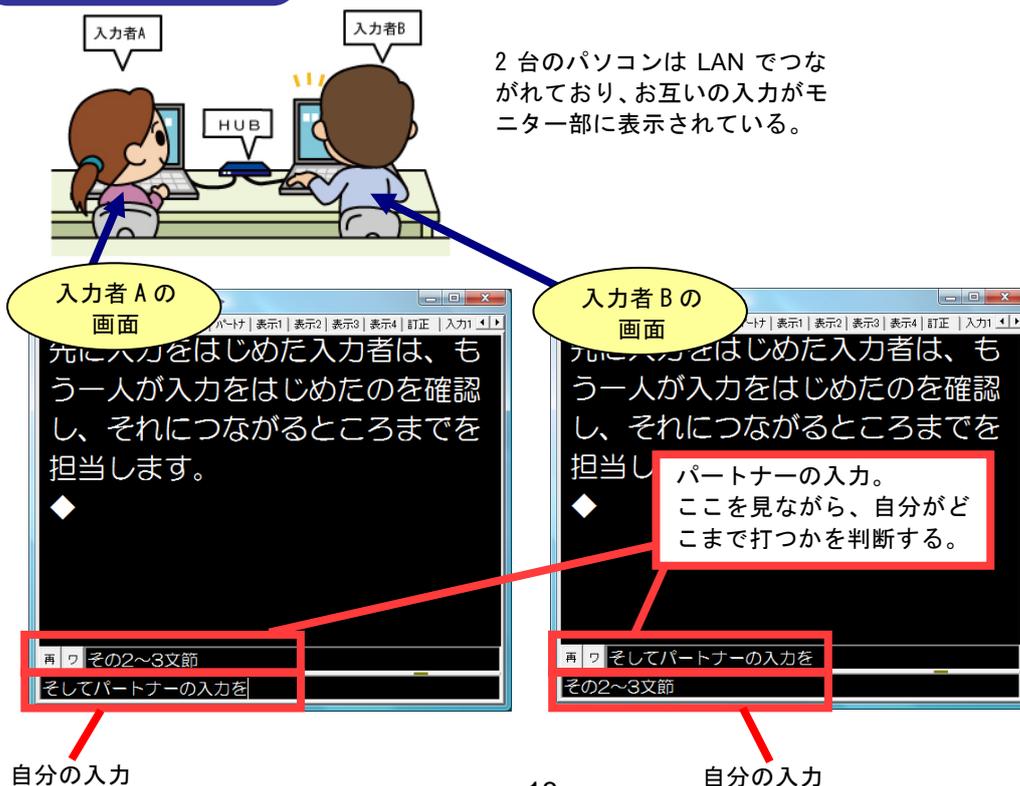
実際にやってみよう！

では、実際に短い文章を打ってみましょう。入力部にカーソルを置き、聞こえてきた文章を入力します。Enter を押すと、入力した内容が表示部に流れるのがわかると思います。



入力に慣れてきたら、次は連係入りに挑戦です。連係入力では、二人以上の入力者が共同で一つの文を完成させていきます。あらかじめパートナーとどちらが先に入力するかを決め、入力者 A が入力を始めたら入力者 B はモニターを見ながら 2～3 文節先の言葉を入力します。入力者 A は、入力者 B の文頭を確認してつながるところまでを担当します。

連係入力の方法



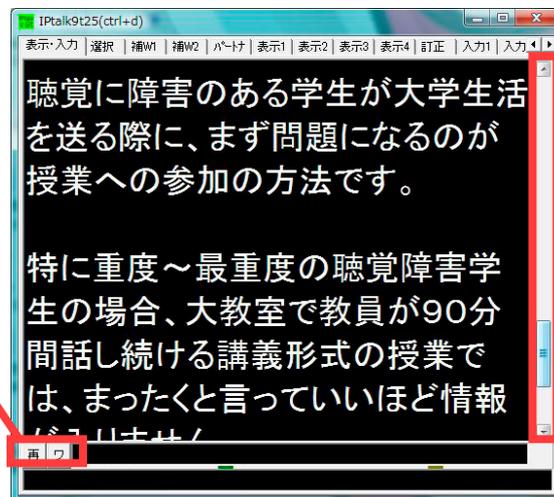
どうでしょう？きれいな文章を入力できましたか？

少し入力に慣れてきたら、以下のポイントに気をつけて練習してみてください。

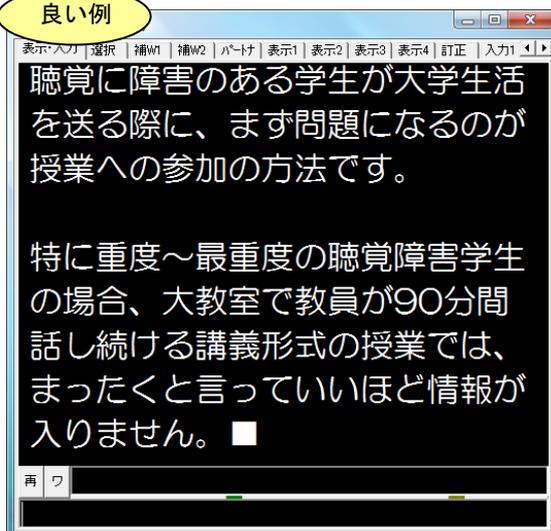
チェックポイント

- 文章がきちんとつながっている
- 「、」や「。」がきちんと入力されている
- 適度に改行が入り、見やすく整形されている
- 漢字の変換ミス等がなく、正確な情報が入力されている

モニター部の左側に出ている「ワ」ボタンをクリックすると、表示画面をワープロモードに切り替えられます。ワープロモードでは、右側のスクロールバーを使って表示されていない部分も確認することができます。再度入力を始める時には「再」ボタンを忘れずにクリックしましょう。

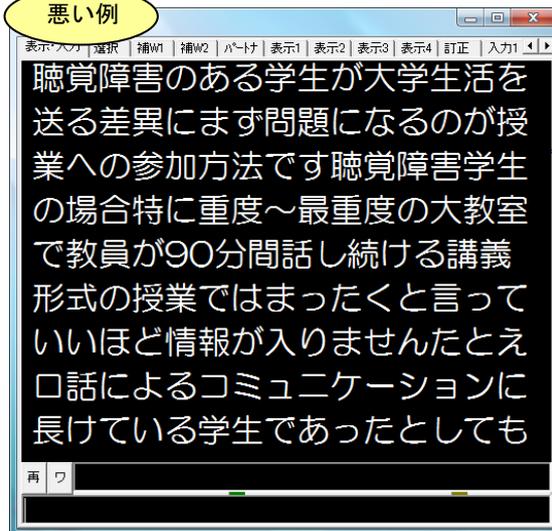


良い例



入力ミスがなく、句読点や改行も適度に入っていて読みやすい。

悪い例



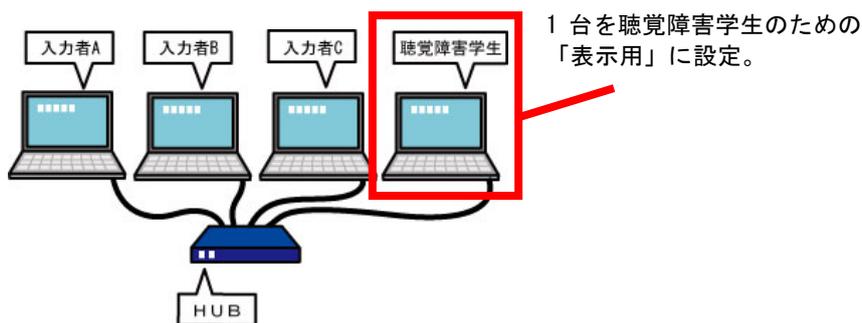
入力ミスや連係入力の失敗が見られる。句読点や改行がないため、文章の切れ目がわからない。

聴覚障害学生用パソコンの設定

実際の支援場面では、聴覚障害学生のための表示用パソコンが必要です。このパソコンでは、入力部やモニター部が表示されず確定された文章のみが流れます。

入力した文字をスクリーンに投影するときには、このパソコンをプロジェクタに接続します。

表示用パソコンの設定



設定の手順は以下の通りです。

- ①表示1Tabで「表示用」を選択する。
- ②表示2Tabで「マウスカーソルの非表示」にチェックを入れ、表示・入力Tabに戻る。
- ③IPtalkを全画面表示にし、F1キーを押してメニューやウィンドウ枠を消す。
- ④元に戻すときにはもう一度F1キーを押す。

入力人数は？
●表示・入力ページの種類を指定します。
○2人入力 入力部とモニター部が出ます。
○1人入力 入力部のみが出ます。
☑お知らせ(テロップ)を受信しない。
○表示用 表示専用(F1で枠が消えます。)
☑警告、操作説明メッセージを表示する。

表示1Tabで「表示用」にチェックを入れる

「表示用」設定では、モニター部や入力部が消え、表示部のみが画面に表示される。

F1キー

F1キーを押すとメニューやウィンドウ枠も消える。元に戻すときは、もう一度F1キー。

8人モニタを使えば、入力文字をリアルタイムに確認することも可能です。

便利な機能と入力のポイント

IPtalk のさまざまな機能

IPtalk には非常に多くの機能が盛り込まれています。ここでは、大学におけるパソコンノートテイクでよく使用される機能に絞って Tab ごとに紹介していきます。

選択 Tab

IPtalk で表示する機能を選択する画面です。初心者用→上級者用にいくにしたがって、たくさんの機能が表示されるようになります。

用途に合わせて、表示する機能を選択できます。

初心者用

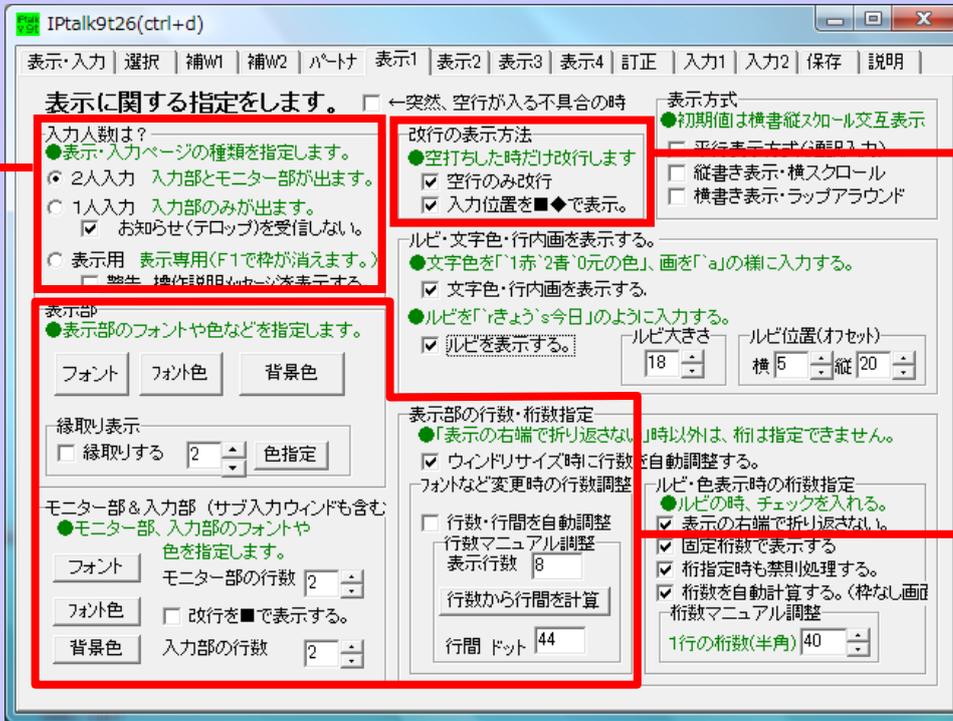
上級者用



ここでは「上級者用」を選択しましょう。「初心者用」と比べ、便利な機能がたくさん表示されます。

表示 1 Tab

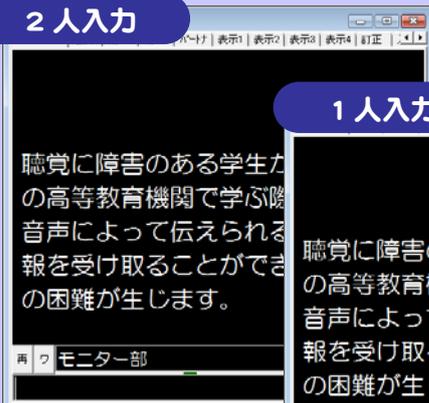
入力用・表示用の設定や表示部の色の設定など、基本的な表示設定に関する機能がおさめられています。



「入力用」と「表示用」の選択

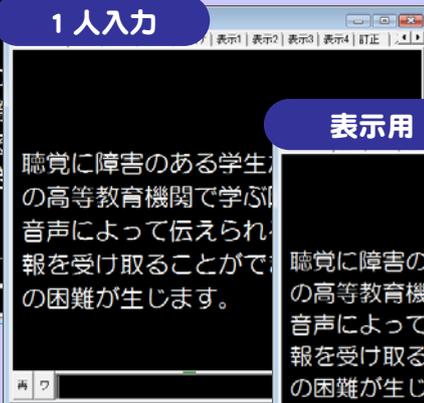
モニター部や入力部の要・不要に応じて、「2人入力」「1人入力」「表示用」のいずれかを選択できます。

2人入力



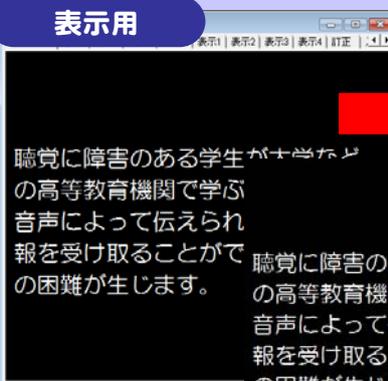
入力部とモニター部の両方が表示される。

1人入力



モニター部が消え、入力部のみが表示される。

表示用



表示部のみが表示される。聴覚障害学生用のパソコンはこれを選択。

F1 キー

ウィンドウ枠を消すことも可能。

聴覚に障害のある学生が大学などの高等教育機関で学ぶ際、通常の音声によって伝えられる講義の情報を受け取ることができないなどの困難が生じます。



文字が途切れないように表示する

IPtalk の初期設定では、Enter を押すと改行が挿入され、文章が途切れ途切れに表示されてしまいます。「空行のみ改行」にチェックを入れると、前の文章の続きに文字が入力されるので、表示文が読みやすくなります。

Enter を押すと文章が途切れる

「空行のみ改行」にチェック

「空行のみ改行」にチェックを入れた状態で、次の文章を入力すると、前の文章の続きに文字が入力される。

文章が繋がった



文字の大きさやフォントの色を変更する

表示部や入力部・モニター部が見つらいときには、フォントの大きさや色を変更することができます。

表示が見つらい

フォントの大きさや色を設定

表示が見やすくなった

表示部の行数・行間設定はこちら。自動設定にするか、行数を入力し、「行数から行間を計算」をクリック。

訂正 Tab

表示部に流してしまった文字を修正する際に利用できる機能が設定できます。



F9 キーで直前の文字を戻す

表示部に流してしまった文章は、F9 キーを使って表示部に戻すことが可能です。

F9 キー



F11 キーで直前の文字を消す

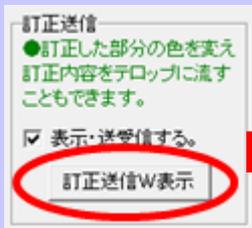
同様に F11 キーを押すと、表示部の文字が 1 文字削除されます。

F11 キー



訂正送信ウィンドウで画面上の文字を修正する

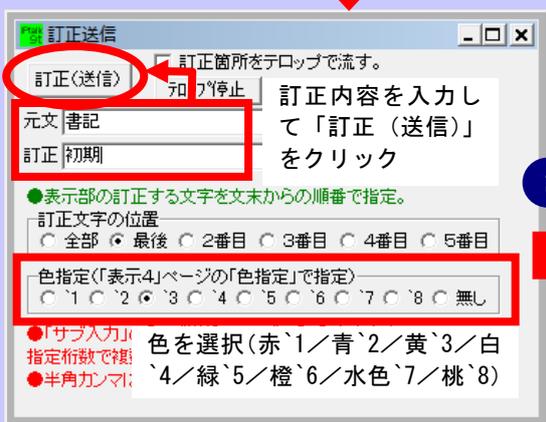
修正箇所が画面上に残っていて、補助者がいる場合には、訂正送信ウィンドウを用いて修正することも可能です。



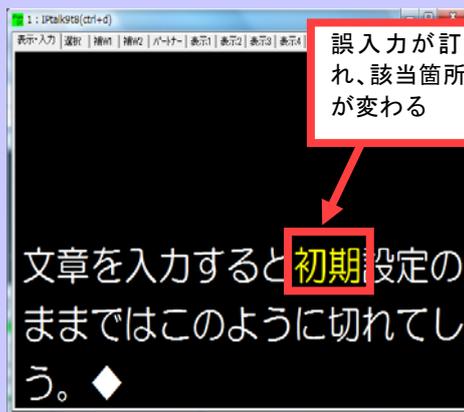
「訂正送信 W 表示」をクリックしてウィンドウを開く



訂正後の色は、訂正送信ウィンドウの中で設定することができます。補助の人は、あらかじめウィンドウを開いておくとういでしょう。



訂正送信

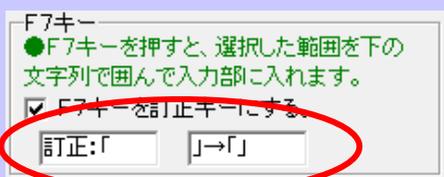


誤入力が訂正され、該当箇所の色が変わる

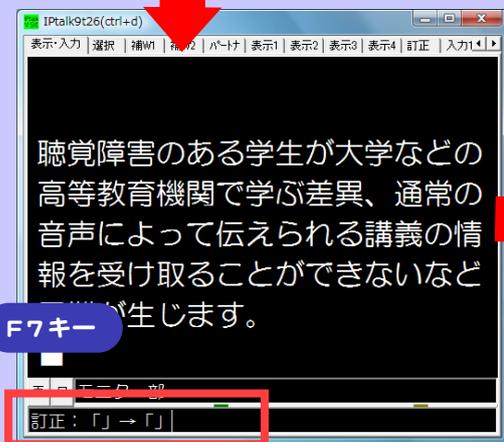


F7キーで訂正文を送信する

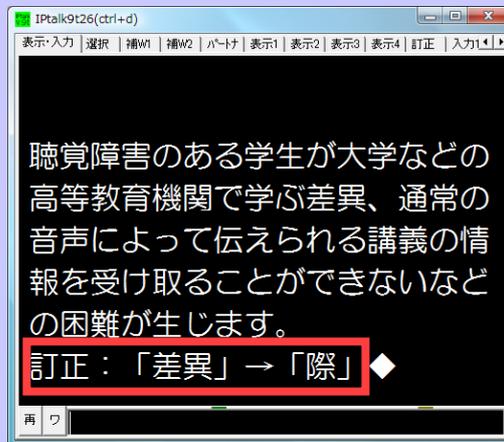
修正箇所が表示部の上の方に流れてしまった時や、すでに画面から消えてしまっている時などは、訂正文を送信することでも修正が可能です。



「F7 キーを訂正キーにする」にチェックを入れ、空欄に訂正文のひな形を入力しておく



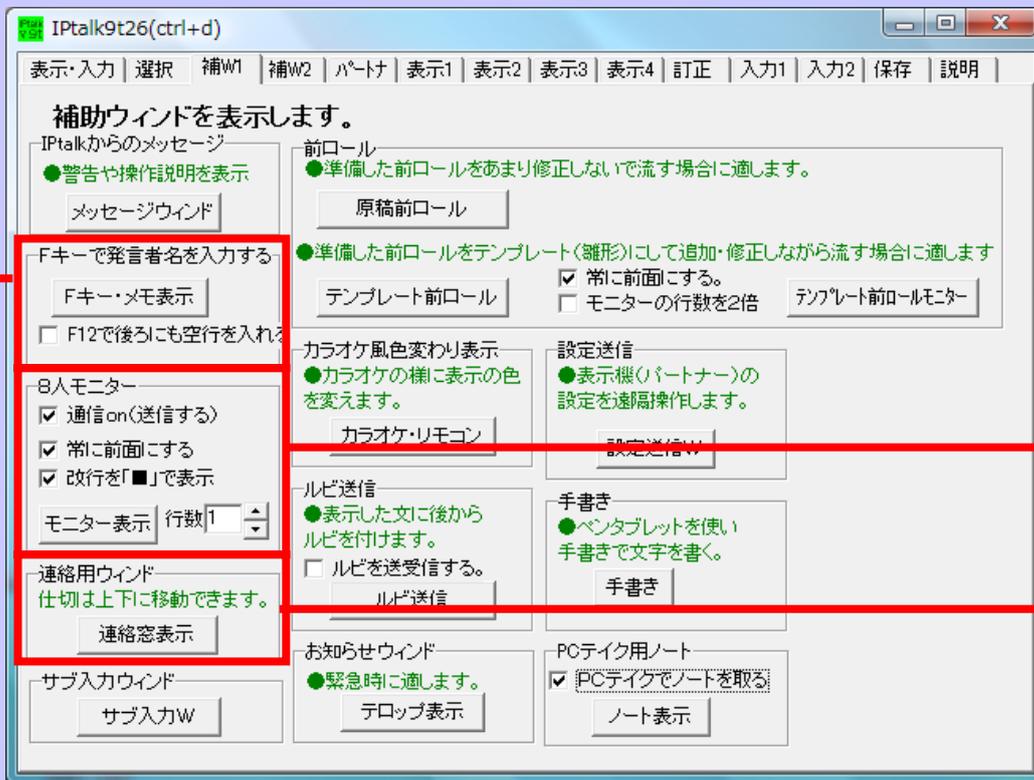
F7キー



「」部に正しい言葉を入力して Enter

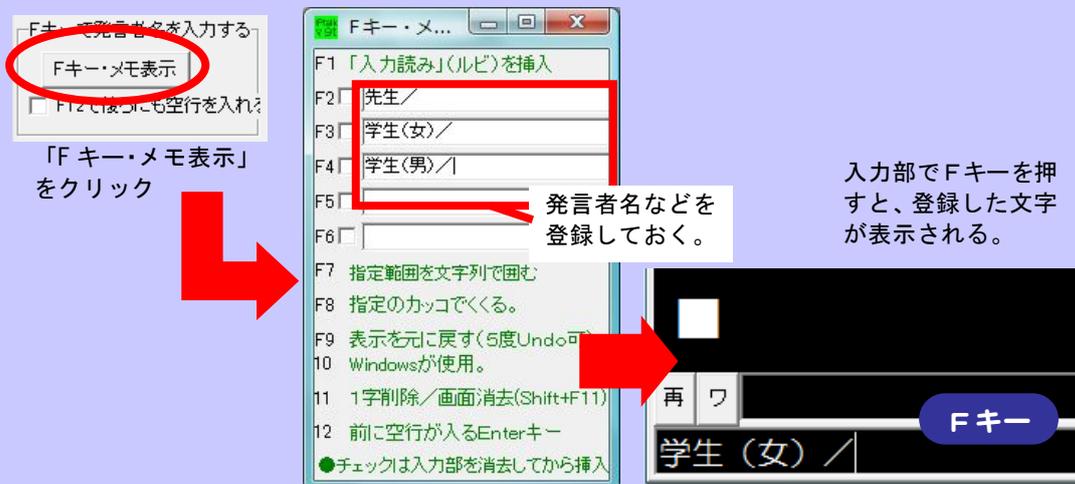
補 W 1 Tab

F キー・メモや連絡窓など入力を手助けする便利な機能がたくさん盛り込まれています。各ボタンを押すと小さなウィンドウが別に表示されます。



発言者名などを簡単に入力

発言者の名前や本のタイトルなどの長い言葉は、Fキーを使って簡単に省入力できます。繰り返し出てくる言葉は、あらかじめ空欄に入力しておくとも便利です。





入力の様子をリアルタイムに表示する

2人以上で入力を行う時や、聴覚障害学生用のパソコンで入力された文字をリアルタイムに表示したい時には、「8人モニター」を使用することができます。ここには同じネットワークにつながっているすべてのパソコンの入力がリアルタイムに表示されます。

8人モニター
 通信on(送信する)
 常に前面にする
 改行を「■」で表示
 モニター表示 行数 1

「モニター表示」をクリック。
 8人モニターが表示される。

実際の表示。入力中の文章が8人モニターに、確定後の文字が表示部に流れる。

人からの申し出で面談が必要となることもあります。また、一回で支援内容が決定しなかった場合には、何度か入学前に顔を合わせて話し合いを行っていくこともあります。確定すると表示部に

メンバーの名前 入力中の文章

バーを下げると設定画面が現れる。



交代のタイミングを伝える

交代のタイミングを伝えるなど、入力者間で連絡が必要なときには「連絡窓」というチャットボックスを使用することができます。

連絡用ウィンドウ
 仕切は上下に移動できます。
 連絡窓表示

「連絡窓表示」をクリック

発言者名の入力、受信時の背景色の設定などはここで行う。

1: 連絡(ctrl+r)

入力A:交代します。

文字を入力して Enter

入力した文字がメンバーに流れた。

連絡(ctrl+r)

緑色のバーを下げると設定画面が表示される。

連絡(ctrl+r)
 定時連絡: <停止中> ↓下に設定
 定時連絡 5分 交代です!
 30秒前に予告する 30秒前です。
 LANに流す 定時連絡に時刻表示
 連絡文に時刻表示
 ↓下に設定あり
 発言者名 入力A: フォント 背景色
 全員送信 保存 受信時背景色
 IPtalk終了時に自動保存する。

入力1 入力2 Tab

入力に関するさまざまな設定を行うTabです。カッコなどの自動入力が可能です。

入力1

入力2



「 」やルビを自動的に挿入する

チェックを入れると、F8 キーや F1 キーで入力文の前後をカッコでくくったり、ルビを挿入できます。スライド「 …」などの文字列を入力しておくことも可能です。

保存 Tab

ここでは、ログや設定の保存を行うことができます。



フォントなどの設定を保存する

フォントや背景などの表示設定は、保存しておくことができます。次回も同じ設定を反映したいときには、「起動時設定にする」をクリックします。

「起動時設定にする」をクリック

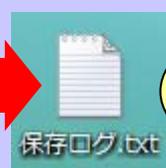


入力した文章を保存する

入力した文章は、テキストファイルとして保存が可能です。誤って消してしまわないよう、自動保存させておくこともできます。

「保存」をクリック

終了時に自動保存する時にはここをクリック。



テキストファイルとして保存される

効果的な入力のために

早く、効率的に入力するためには、IME(日本語入力ソフト)の機能を活用することも重要です。また、連携時の修正方法や効果的なタイピング練習方法なども知っておくと良いでしょう。

IMEというのは日本語入力ソフトのことです。Windowsに添付されている Microsoft IME の他、ATOK (ジャストシステム社) などがあります。



IME の単語登録・省入力

「口話 (こうわ)」「失聴 (しっちょう)」などの変換しづらい言葉や、「質問はありますか?」などの決まり文句は、辞書に登録しておくことで簡単に入力が可能です。

MS-IME の場合



「ツール」から「単語の登録」を選択

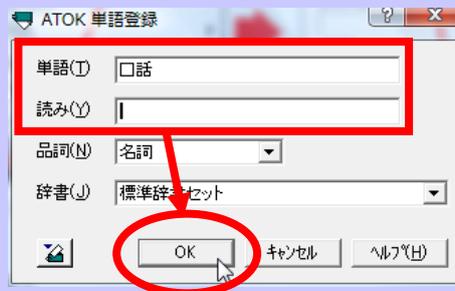
単語、よみを入力し、登録をクリックすると単語が登録される。

ATOK の場合

登録したい単語を選択し、Ctrl+F7 キーを押す。



Ctrl+F7 キー

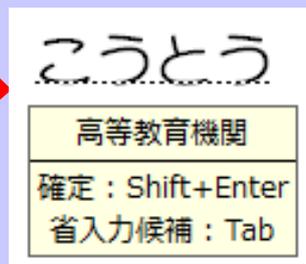


単語登録画面にてよみを入力し、OKをクリック

このほか、ATOK には何度か同じ言葉を入力すると、自動的に変換候補を表示してくれる機能もあります。

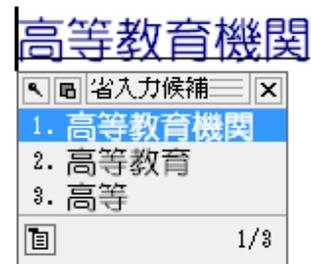
高等教育機関

はじめは「高等教育機関」と入力。



Tab キー

何度か入力していると、途中で変換候補が出る。候補が正しい時には、Shift+Enter で確定。



Tab キーを押すと、他の変換候補も表示される。



連携入力のポイント

- 交代のタイミングは話の速度や入力者のタイピング速度によって変わります。入力者同士の経験年数が違う時には、初心者が先に打ち始め、経験者が交代をリードしましょう。

【入力速度が同程度の場合】

再 ワ 支援の内容を決定するためには、
本人がどのような支援を求めているか

再 ワ 確認しなければなりません。
多くの場合、受験相談や入学前相談が

2人とも同じぐらいのタイミングで交代する。

【入力速度に差がある場合】

再 ワ 支援の内容を
決定するには、本人がどんな支援を求めているか

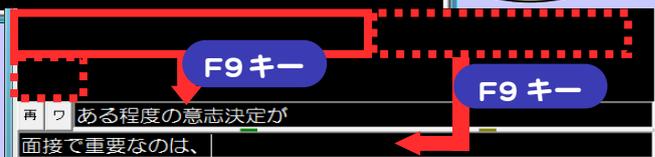
再 ワ 確認しなければ
なりません。多くの場合、受験相談や入学前相談が

初心者が先に打ち始め、経験者が様子を見ながらリードする。

- 連携がうまくいかず、入力が入れ替わってしまったときには、それぞれがF9キーを押して誤り部分を戻し、その後、正しい順番になるように入れ替えます。

ある程度の意志決定が 面接で重要なのは、

入力順が
入れ替わって
しまった！



それぞれ、1回ずつF9キーを押して入力を戻す。

面接で重要なのは、ある程度の意志決定が

正しい順番に入れ直す。



入力のポイント

- 連携入力には、タッチタイプの技術が必須です。タッチタイプの練習には、楽しみながら技術の向上が望めるタイピング練習ソフトを用いると良いでしょう。ある程度慣れたら、次は音楽や講義テープを題材に、聞きながら入力する練習をするといいでしょう。

【タイピング練習ソフトの例】

パーフェクトキーマスター (株)ホロン (5000円程度)
http://www.holonsoft.co.jp/products/edu_o/perfect/index.html
 基礎から学べるタイピング練習ソフト。ホームポジションの練習からゲームまで盛りだくさん。

Ozawa-Ken (フリーソフト/開発: higo氏)
<http://www.higopage.com/ozawa-ken/>
 無料でダウンロードできるタイピング練習ゲーム。レベルが選択できるので初心者でも楽しめる。



このほかにもたくさんのフリーソフト等が出ています。

よくあるトラブルと解決方法

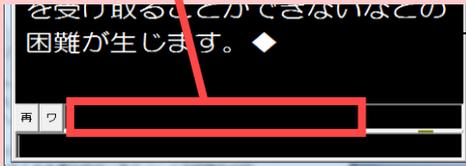
ネットワーク設定に慣れないうちは、IPtalk 同士がなかなかつながらない！とのトラブルが生じがちです。ここでは、IPtalk の接続で生じやすいトラブルと解決方法について解説します。

トラブルシューティング



モニター部にパートナーの入力が表示されません！

を受け取ることができないなどの困難が生じます。◆



パートナー Tab を開いてください
パートナーはメンバーに表示されていますか？

No Yes

トラブルの解決には原因の分析が不可欠です。まずは、以下のチャートにしたがってネットワークのどこに問題が生じているのかを検討してください。それぞれの問題の詳しい解決方法は次ページ以降に解説しています。



メンバーに表示されません！

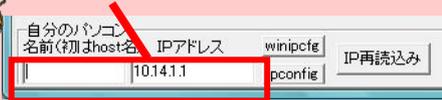


「IP 再読み込み」を押してください。
自分の IP アドレスは正しく表示されていますか？

No Yes



10.14.1.1 と表示されている！



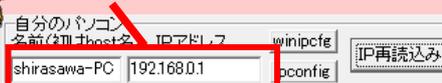
IP アドレスが 2 つ表示されている！



正しい IP アドレスが選択されていますか？



別の IP アドレスが表示されている！



無線 LAN が ON になっていませんか？
 IP アドレスの設定が間違っていないですか？

大切なのは、その場の情報保障を行うことです。どうしてもつながらないときには、一人入力に切り替えたり、手書きのノートテイクをするなど、代替手段を考えましょう。

- パートナーに「なってよ！」ボタンは押されていますか？
- 「入力をLANに流す」はチェックされていますか？
- 「仲間」にチェックが入っていますか？



- 他の人とパートナーになっていませんか？
- 他の人がその人とパートナーになっていませんか？
- 「パートナー固定」にチェックをしていませんか？

- メンバーを探すボタンを押しましたか？
- 入力班・チャンネルはありますか？
- 「メンバー固定」にチェックが入っていませんか？
- 同じ班に10台以上のパソコンをつないでいませんか？
- サブネットマスクは正しく入力されていますか？
- 同じHUBにつながっていますか？
- ウィルスソフトのファイアウォールが有効になっていませんか？

ネットワーク接続を開いてください。
ローカルエリア接続は有効になっていますか？

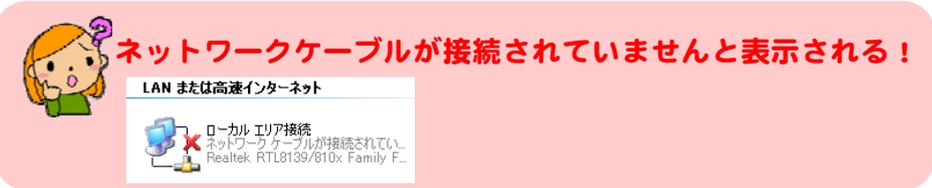


No

- IP アドレスの設定が間違っていないですか？



- 右クリックして「有効」を選択して下さい。
- IP アドレスの設定が間違っていないですか？



- もう一度接続を確認してください。
- LAN ケーブルはしっかりと差し込まれていますか？
- HUB の電源は入っていますか？
- 電源タップはコンセントにつながっていますか？
- コンセントのスイッチはOFFになっていませんか？
- LAN ケーブルは切れていませんか？
- LAN ケーブルがHUBのUPLinkにつながっていませんか？



参考情報

パソコンノートテイクについては、地域のパソコン要約筆記サークルや要約筆記者派遣協会などで多くの情報を得ることができます。また、IPtalk の各機能を紹介したマニュアルも販売されていますので、参考としてご利用いただければ幸いです。

- IPtalk の配布先 <http://iptalk.hp.infoseek.co.jp/>
頻繁に更新されているので、まめにチェックすると良いでしょう。

- 参考資料

- ・ 長野サマライズセンター <http://www.shiojiri.ne.jp/~fstep/>



IPtalk のマニュアルを作成・販売しています。
本書で触れられなかった細かな機能まで詳しく説明されています。

- ・ パソコンノートテイク導入支援ガイド「やってみよう！パソコンノートテイク」



<http://www.pepnet-j.org>

本書の詳細版です。はじめてパソコンノートテイクを導入する大学を対象に、つまづきやすいポイントやトラブルシューティング等、丁寧に説明しています。

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク PEPNet-Japan

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク※(以下 PEPNet-Japan; The Postsecondary Education Programs Network of Japan)は、2004年10月筑波技術大学の呼びかけにより結成された高等教育機関間のネットワークで、これまでに聴覚障害学生を受け入れ、積極的な支援を行ってきた連携大学・機関によって組織されています。

関係諸機関間のネットワークにより情報や実践を蓄積し、他大学・機関への発信を行うことで、全国的な支援体制の拡充を目指しています。



**パソコンノートテイク導入支援ガイド：
やってみよう！パソコンノートテイク**

初心者用
これだけは！

発行日：2009年9月30日 初版

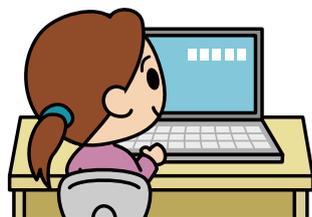
発行：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（PEPNet-Japan）

編集：白澤麻弓（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター）
磯田恭子（筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター）

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク（事務局）
〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15
筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター

※本事業は、文部科学省特別教育研究経費による拠点形成プロジェクト（筑波技術大学）の一部です。





パソコンノートテイク導入支援ガイド
やってみよう！パソコンノートテイク

初心者用
これだけは！